

**日本動物遺伝育種学会第6回大会  
開催のお知らせ**

日本動物遺伝育種学会第6回大会を下記の要領で開催いたしますので、多数のご発表・ご参加をお待ちしております。参加申込・発表申込の詳細につきましては学会ホームページ (<http://bre.soc.i.kyoto-u.ac.jp/~jsabg/>) をご覧ください。

**日時：**平成17年9月11日(日)・12日(月)

**会場：**北海道大学学術交流会館(札幌市北区北8条西5丁目、札幌駅北口より徒歩7分)

会場ホームページ：<http://www.hokudai.ac.jp/bureau/map/map4.htm>

**参加費：**大会参加費

普通会員：前納3,000円 当日4,000円

学生会員：前納2,000円 当日3,000円

非会員：前納4,000円 当日5,000円

懇親会参加費 4,000円(前納のみ)

**日程：**

**9月11日** 特別講演・教育講演・ポスターセッション・懇親会

特別講演「水産無脊椎動物の育種研究の現状と展望」

演者：和田克彦(水産育種研究会会長)

教育講演「野生哺乳類、特にネズミ類の遺伝学」

演者：鈴木 仁(北海道大学大学院環境科学院)

ポスター発表

**9月12日** シンポジウム(第11回動物遺伝育種シンポジウム)

シンポジウムテーマ：産業動物育種への新たな視点と技術

特別講演「Milestone events and future perspective of genetic manipulation for aquaculture」

演者：Yoon Kwon NAM (大韓民国・釜慶大学校)

セッション

「育種改良とエピジェネティクス 特に改良に伴うDNAメチル化パターンの変化とその関わりについて」

演者：須田義人(宮城大学食産業学部)

「ホルスタインの生産寿命と体型形質の関連」

河原孝吉(北海道ホルスタイン農業協同組合、(社)日本ホルスタイン登録協会北海道支局、(社)北海道ホルスタイン協会)

「遺伝子改変家畜の現況とその利用、とくに脂質改変による食への貢献の可能性」

佐伯和弘(近畿大学生物理工学部)

「牛の体細胞クローン技術 その応用に向けた取り組み」

澤井 健(北海道畜産試験場)

**問合せ先：**〒041-8611 函館市港町3-1-1

北海道大学大学院水産科学研究院育種生物学分野

日本動物遺伝育種学会第6回大会実行委員会

実行委員長 荒井克俊

Tel: 0138-40-5535 Fax: 0138-40-5537

E-mail: [shimomur@fish.hokudai.ac.jp](mailto:shimomur@fish.hokudai.ac.jp)